競技注意事項

１．本大会は 2023 年度　公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって競技を行う。

２．練習は指定された練習会場を使用する。その他、審判員・競技役員の指示に従うこと。

３．競技者の招集について

（１）招集所は競技場スタンド裏（ゴール側）に設ける。

（２）招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてその競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

種　　目	招集開始時刻	招集完了時刻	種　　目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前	走　高　跳	55分前	45分前
フィールド競技	40分前	30分前	棒　高　跳	70分前	60分前

（３）招集方法

（ア）競技者は出場種目の招集開始時刻がきたら招集所で点呼を受ける。

（イ）招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。

（ウ）他の種目と兼ねて出場する競技者は、その旨を競技者係に申し出て出場を確認する。

（エ）競技を棄権する競技者は、競技者係に申し出ること。

（オ）招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

４．競技場への入退場について

（１）入退場は必ず競技役員の指示に従うこと。競技者以外はトラック、フィールド内に立ち入ることはできない。また、本部前の通行は禁止とする。

（２）フィールド競技者の退場については、当該競技役員・マーシャルの指示に従う。

（３）競技場内には、映像機器やミュージックプレーヤー、またはスマートフォン等の通信機器を持ち込むことはできない。また、練習器具（メディシンボール等）も持ち込むことはできない。

５．アスリートビブスについて

（１）アスリートビブスは TR5.7 及び TR.5.9 のとおりとする。

（２）トラック競技出場者は、腰ナンバー標識を招集所で受け取り、右側後方に付けること。

（３）4×400ｍＲの腰ナンバー標識は招集所で受け取り、第 2・第 3 走者は左側に、第 4 走者は右側後方につけること。

（４）3000ｍ以上の競技（競歩も含む）は、プログラム記載のアスリートビブスを持参し点呼を受け、その後競技者係で配布されたアスリートビブス及び腰ナンバー標識を使用すること。

６．走路順・試技順について

（１）トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。なお、番組編成では学校の重なりは考慮しない。

（２）準決勝以降のトラック競技の組み合わせ及び走路順、フィールド競技の試技順は、番組編成員により公正に抽選し決定する。

７．同タイムでのプラス進出者確定について

タイムによる次のラウンドに進む競技者の決定について、最終枠に同記録があるときの処置は、写真判定主任が 0.001 秒単位の時間を判定して競技者を決定する。【TR21.5】

ただし、同成績（0.001 秒単位まで同じ）となった場合は以下のとおりとする。

(ア)空きレーンがある場合は対象者全員を次のラウンドへ進出させる。

(イ)空きレーンがない場合は同成績者または代理人によって抽選する。なお、アナウンス後 15 分を経過しても当該競技者あるいは代理人が来なかった場合は、主催者が代行する。

(ウ)８００ｍについては空きレーンがない場合でも８レーン及び２レーンに２名を入れて実施する。

８．競技について

（１）事故防止のため、短距離走ではフィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。

（２）リレー競走に出場するチームは、ラウンドごとに競技者係でオーダー用紙を受け取り、各ラウンドの第１組目の招集完了時刻１時間前までに、競技者係（招集所）に提出すること。提出時間に遅れたチームは当該種目を棄権したものとみなし処理する。

＊申告したオーダー用紙の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。

＊招集完了時刻前であっても、一度申告した編成の変更（オーダー用紙の差し替え）は認められない。

＊医務員の判断による変更は出場者のみ認められ、編成（走る順番）の変更は認められない。

（３）男女の競歩競技においては制限時間を設ける。男子 32 分、女子 36 分以内に 4600ｍを通過できなかった者は、競技を中止させ、競技結果を DNF とする。

（４）競技用靴は、TR5.2 を適用する。

（５）CR18.5及びTR16.5に関する「スポーツマンにあるまじき行為」や「不適当な行為」が認められた場合には審判長の権限により警告が与えられる。これに該当する警告を2度与えられた競技者は失格となり、それ以降の本競技会における全ての種目への出場権を失う。また、監督・コーチ等にも警告が与えられる場合がある。

（６）競技者に対する助力は、TR6.に準ずる。コーチングエリアやスタンドから助力を与える場合はマーシャルか当該種目の競技役員の指示に従い、競技運営や他の競技者の妨げにならないように注意すること。また、コーチングエリアでは、映像機器の画像を競技者に見せることは出来るが、手渡すことは出来ない。悪質な場合はイエローカードの対象とする。

（７）ＡＢ決勝で行われるトラック競技はB決勝から行い、入賞者はA決勝からとする。

（８）三段跳びの踏み切り板は、砂場から男子は11ｍ、女子は9ｍの地点に設置する。

（９）フィールド種目はタイマーを使用する。

(10) イエローカード（以下 YC）については以下の通りとする。
競技規則 TR7.2 及び TR7.3 を適用せず、下記により実施する。

(ｱ)WA 競技規則 CR18.5 の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15. 4、25.5、25.19、に違反があった競技者やリレーチームに YC を提示し警告を与える。この場合他の種目との合算はなく、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。

(ｲ)同一種目で２回の YC の提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YC の提示の累積は、当該種目のみにする。

９．抗議について

（１）競技中に起きた競技者の結果及び行為に対する抗議は、当該競技者の監督により、その種目の結果が公式発表されてから 30 分以内、当日に次のラウンドが行われる場合は 15 分以内に行われなければならない。（その時の基準時刻は、場内アナウンスでの結果発表が終了した時刻とする。）抗議者は総務員に申し出た後、口頭で審判長に抗議を行うものとする。

（２）抗議に対して審判長は速やかに裁定する。抗議者が審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合、上告申立書（大会本部に用意）に必要事項を記載し、預託金 10,000 円を添えて申請すること。

10．バーの上げ方について

（１）走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りである。

種　　目		練　習	1	2	備　　考
男子走高跳	予選	1m65	1m70	1m75	
	決勝	1m70	1m75	1m80	以降3cm刻みとする
女子走高跳	予選	1m35	1m40	1m43	
	決勝	1m40	1m43	1m46	以降3cm刻みとする
男子棒高跳	決勝	3m00	3m10	3m20	以降10cm刻みとする
女子棒高跳	決勝	2m10	2m20	2m30	以降10cm刻みとする

（２）走高跳・棒高跳で第１位を決めるバーの上げ下げは、走高跳では 2cm 棒高跳では 5cm 単位とする。

11．予選通過記録

	走高跳	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男　子	1m75	6m40	12m70	11m00	33m00	35m00	48m00
女　子	1m43	5m05	－	8m50	25m50	－	32m50

※ 天候その他によって通過記録の変更もありうる。

12．競技に使用する用器具は、棒高跳ポール以外全て主催者が用意したものを使わなければならない。やりは検査を受けて通ったものを使用することができる。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有のものを使用できる。

＊やりの検査について…検査時間は、各日程 8:30～9:00 までの間にエントランスホールにて実施する。ただし、借り上げすることができるやりは、プログラム記載の「投てき器具一覧」に記載のないやり、または複数本無いやりについて認めるものとする。借り上げたやりは予選・決勝それぞれの競技終了後、選手からの申し出により投擲審判員が競技場所において当該選手に返却する。なお、返却の際は借上書と引き換えにする。

13．各種目３位までの入賞者は結果発表後に表彰する。４位～８位の入賞者は、競技場エントランスホールで賞状を受け取る。なお、全競技日程終了後、男女各１名優秀選手を選出し表彰する。

14．ケガや体調不良に関しては、応急処置のみ大会主催者で行う。